

登録ボランティアの皆さん 登録の更新をお願いします！

ボランティアセンターに登録しておられる個人ボランティアの方、登録団体の方に更新の書類を送付いたします。

●登録団体は登録を継続される場合、2018年度の活動報告書、2019年度登録票の提出をお願いします。

登録を取り消される団体は、所定の用紙を送付いたしますのでご連絡ください。

※様式は佐世保市社会福祉協議会ホームページでもダウンロードできます。

●個人の方は、2019年度の「個人ボランティア活動希望申込書」の提出をお願いします。

登録を取り消される方は、その旨ご連絡ください。

安心してボランティア活動を行うために！ ボランティア活動保険の更新

2018年度のボランティア活動保険の補償期間は**2019年3月31日**で終了します。

2019年度の4月以降の加入については3月から申込みができますので、**ボランティアセンター**または**社会福祉協議会**でお早めに手続きをお願いします。

※2019年度より社会福祉協議会からの100円補助がなくなります。

ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円

(他に天災タイプもあります。)

話し相手ボランティア フォローアップ研修を開催します

高齢者の孤独感や不安などを解消し、心豊かな生活を支援する「話し相手ボランティア」としての知識や技術を身につけることを目的に、フォローアップ研修をおこないます。

この機会に、活動の幅をさらに広げていただきたいと思います。

日時 平成31年2月22日(金)
13:30～15:30

場所 させぼ市民活動交流プラザ
(戸尾町5-1)

テーマ 「介護保険制度について」

講師 佐世保市長寿社会課 職員

対象者 話し相手ボランティアとして登録されている方

ボラセン情報局

ボラセン情報局では、ボランティアセンターの情報を皆さんにお届けします！今回は「使用済み切手の回収」をご紹介します。

ボランティアセンターでは「使用済み切手」を収集し、複数のボランティア団体へ送付しています。

それらは、各種福祉活動の資金として役立てられています。

◆収集方法◆

- ・切手のまわりを5mm～1cm程度残して、封筒からハサミなどできれいに切り取ってください。
- ・切手だけを封筒からはがす必要はありません。
- ・切手は、ボランティアセンター及び社会福祉協議会の窓口にて随時受け付けております。



スタンプ(消印)も重要ですので残して切り取ってください。

「使用済み切手」の収集は、誰にでも簡単にできる身近なボランティア活動です。皆さまのご自宅や職場に眠っている切手がありましたら、ご協力お願いいたします。

あなたらしさで広がるボランティア くれよん KUREYON



2018年度 第6号
平成31年2月1日

◆特集◆

『させぼ おもちゃ病院』

壊れてしまった大切なおもちゃに新しい命を吹き込むボランティア



佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)
〒857-0864 佐世保市戸尾町 5-1 させぼ市民活動交流プラザ 1階
TEL : 0956-23-3905 / FAX : 0956-42-0102 E-mail : kureyon@sasebo-shakyo.or.jp
時間 / 10:00～18:45 (火～土) 10:00～17:00 (日)
休館日 / 月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日



「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

壊れた大切なおもちゃに、新しい命を吹き込みます！

させぼおもちゃ病院



子ども達が、大切そうに荷物を抱えて訪ねてくる場所があります。
子ども達が持っている物は、動かなかったり音が出なかつたりなど、壊れてしまったお気に入りのおもちゃ達。
そんなおもちゃをボランティアで修理し、子ども達に笑顔をお届けする活動をされているのが『させぼおもちゃ病院』です。

『させぼおもちゃ病院』は平成27年12月に発足し、活動を始められました。
活動開始以来、手がけたおもちゃの修理は平成30年末で437件、残念ながら全てが修理できた訳ではありませんが、それでも9割以上は修理されて持ち主の元へ戻ったそうです。

大和町から来られたという、クレーンゲームの修理を依頼された親子は「製造元に修理の問い合わせをしたら、長い時間と高いお金が掛かると言われました。子どもお気に入りの、よく遊ぶおもちゃなので、すごく助かりました」と話され、修理が完了して動くようになったおもちゃを嬉しそうに笑顔で受け取っていました。



おもちゃがどのような状態なのか、丁寧な問診が行われます。持ち主の子ども達も、一生懸命に説明をしていました。



さまざまな知恵と道具を駆使して、修理をしていくおもちゃドクターの皆さん。ドクター達は、それぞれ木工・電子工作・プラモデルが趣味などの得意分野があり、上手く役割分担をされているそうです。

『させぼおもちゃ病院』の活動への想いをお尋ねしました

代表者の近藤さんは「おもちゃを修理するにあたって気をつけていることは、安価に修理する事です。そのために修理用部品は、破損が激しく修理できなかつたおもちゃから外したものを使ったり、インターネットを利用して調達したりしています。また、最近のおもちゃには電子回路を内蔵した物が増えていますが、その修理には専門知識が必要になり苦労します。修理を依頼されるおもちゃの持ち主の多くは子どもさんですが、まれに年配の方が子どもの頃に遊んだおもちゃを、お孫さんに遊ばせたいからとの依頼や、障がいを持たれた方の心の拠り所になっているおもちゃの依頼もありました。それらのおもちゃの修理は特に印象に残る、やり甲斐がある修理でした。



12月14日に佐世保市総合グラウンド体育館で開催された「させぼハンドメイドマーケット」でも、多くのおもちゃが持ち込まれ診察されました。

この情報紙は「赤い羽根共同募金」の配分を受けて作成しています。

市民の皆さん、おもちゃが壊れてしまってもすぐに破棄せず、まずは私達『させぼおもちゃ病院』に修理をさせていただけないでしょうか。修理により再びおもちゃで遊べるようになると、それだけで破棄される物が減り、子どもさんの物を大切にすることを育む助けになるかと思えます。子どもさんのおもちゃに限らず、古い思い出が詰まったおもちゃの修理もご依頼をいただきたく思います」と語られました。

『させぼおもちゃ病院』は毎月第3土曜日、させぼエコプラザ【戸尾町5-1(旧戸尾小学校)】で10:00~15:00に開催されています。

させぼエコプラザ主催の『かえっこバザール』も同日開催されていますので、是非とも家族で訪れてみられてはいかがでしょうか。

『させぼおもちゃ病院』メンバー募集中

『させぼおもちゃ病院』では、一緒に活動するメンバーを募集されています。
ご興味がある方は【TEL:090-1192-6814 させぼおもちゃ病院 代表 近藤さん】まで、相談や問い合わせだけでも大丈夫ですのでご連絡ください。



この旗が目印です！

『地域福祉講演会』開催のお知らせ



『ペコロスの母に会いに行く』より

認知症の母を介護された経験をお持ちで、「ペコロスの母に会いに行く」の作者として有名な岡野雄一氏をお招きし、認知症の方と一緒に明るく前向きに過ごすためのヒントやコツについての講話や弾き語りを行っていただきます。

日時 平成31年2月12日(火)
19:00~20:30(開演18:30)
会場 アルカスSASEBO 4階ホール
講師 岡野 雄一氏
(「ペコロスの母に会いに行く」作者)
入場料 無料(事前の申込みも不要)
【詳しい問い合わせ先】
佐世保市社会福祉協議会
☎(0956)23-3174 (担当:山本)

災害ボランティア講演会を開催しました

平成30年11月28日、相浦地区公民館 多目的ホールにて「災害ボランティア講演会」を開催しました。

平成29年7月に発生した九州北部豪雨で大きな被害を受けた福岡県朝倉市より、朝倉市社会福祉協議会 福祉課長 居川 茂氏と、福祉課 矢野 奈緒美氏を講師に迎え、「災害ボランティアセンターの役割・活動及び心得について」をテーマに講話が行われました。



講演会の様子

災害ボランティアに求められる「4規範」

自己完結	食事・移動・宿泊などすべて自己責任で確保し、ゴミも持ち帰る
自己管理	ケガや病気にならないよう、安全衛生管理につとめる
自己組織	集団で活動できるよう、チームづくりに心掛ける
自己実現	活動の中で多くを学んで成長し、ボランティアとして達成感を大切にする

講話では、豪雨災害による朝倉市の被害状況及び、朝倉市災害ボランティアセンターの設置運営の状況、災害ボランティア活動に必要な心得などが紹介されました。

講師の矢野氏は、「事前に活動を希望する災害ボランティアセンターのホームページなどで、場所・受付時間・服装や持参品を確認し、ボランティア活動保険への加入など十分な準備を整えてから現地へ向かい、被災者・被災地へ寄り添う気持ちを忘れずに、被災された方のペースに合わせて活動をして欲しい」と話されました。



被災地へのボランティアは、事前に正しく的確な情報入手をして向かいましょう！